

# 県かこ 兵庫県立加古川医療センター

## 地域医療連携ニュース



発行：兵庫県立加古川医療センター 〒675-8555 加古川市神野町神野203番地 <http://www.kenkako.jp/>  
 TEL：079-497-7000(代表) TEL：079-497-7011(地域医療連携部直通) FAX：079-438-3756(地域医療連携部直通)

もくじ

- コロナ禍の救命救急センター…………… 1
- コロナ禍における緩和ケア内科の入院対応について… 5
- 糖尿病・内分泌内科…………… 2
- 栄養教育の取り組み…………… 6
- 脳神経外科…………… 3
- 研修医の紹介…………… 7
- 放射線部からのお知らせ…………… 4
- 外来診療表…………… 8

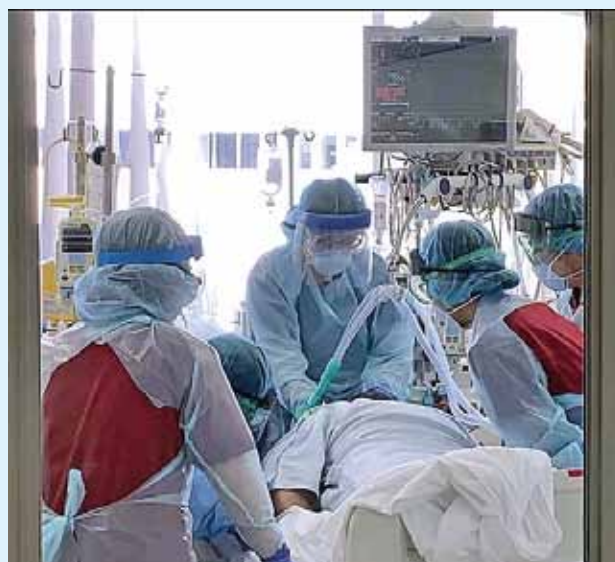
## コロナ禍の救命救急センター

副院長兼救急科部長 当麻美樹

2019年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染症（COVID-19）は、瞬く間に世界を席卷し、その病勢は発生から約9ヶ月が経過した現在においても未だ制御されていません。我が国でも2020年1月からCOVID-19の発生事例が報告されはじめ、兵庫県でも2月中旬以降より第1波が生じ、現時点では、第2波が猛威を振るっているようです。兵庫県立加古川医療センターは、当初より積極的にCOVID-19患者の受入を行い、5月16日には兵庫県新型コロナウイルス拠点医療機関として機能することとなりました。

第1波では、65症例のCOVID-19を受け入れ、そのうち重症と判断された20例ならびに急性呼吸不全を呈してCOVID-19との鑑別が必要となった疑似症4例を救命救急センターで診療しました。重症COVID-19診療においてなによりも戸惑ったのは、「COVID-19という疾患の新奇性」です。多彩な感染伝播経路（飛沫感染+接触感染+エアロゾール感染）と強い感染性を持つが故に、その対応には細心の注意と多大な労力を費やしました。診療にあたっては、COVID-19でみられる臨床所見（特にsilent hypoxiaともいわれる高度の低酸素血症にもかかわらず呼吸困難感を強く訴えないこと）の不思議さや、特異な肺内病変分布とそれらを反映した胸部CT画像、急性呼吸不全の発症機序や人工呼吸管理の困難性、多彩な合併症などに驚かされました。3月中旬からの約3ヶ月間、一般三次救急診療の受け入れを中止せざるを得ない状況の中、救命救急センターの総力を挙げてCOVID-19に対する診療に取り組みました。残念ながら不幸な転帰を辿った患者さんもおられました。多くの患者さんの救命に資することができたのではないかと考えております。

現在、県内でも第2波の発生にともない再びCOVID-19の搬入が増加しています。今後は、COVID-19のみに対応する救命救急センターとしてではなく、「with COVID-19」として、COVID-19のみならず一般の重症救急診療も同時に診療できるような体制作りが必要となってきます。その際は、第1波での診療経験と最新の知見を最大限生かし、さらなる救命率の向上を目指して行きたいと思っております。



ICUでの治療の1コマ：人工呼吸中のCOVID-19患者さんに対して腹臥位療法を施行するため、フル装備の個人防御具を装着した医療スタッフが、仰臥位より腹臥位へと患者さんの体位交換を行っている場面

# 糖尿病・内分泌内科

生活習慣病センター次長兼糖尿病・内分泌内科部長 飯田 啓二

## 当科の特徴

糖尿病・内分泌内科は、文字どおり「糖尿病内科」と「内分泌内科」両分野において専門医療を提供しております。独自の糖尿病教育プログラム、高度な内分泌診療、若手医師の教育・育成、が当科の特徴です。

## 糖尿病診療について

糖尿病診療においてはチーム医療を実践しており、治療と教育を兼ねた入院「教育プログラム」を実施しています。特徴としては、生活習慣改善に重点を置き、通常の講義形式の授業だけでなく、糖尿病食バイキングやカンパセーションマップを用いた教室など患者さん参加型の形式を取り入れています。また専門医師による個別運動指導を実施し、病棟にエアロバイクを設置している点も大きな特徴です。腎臓内科とも密接にコラボし、腎症重症化予防に取り組んでいます。

## 内分泌診療について

内分泌診療においては、当院は県内で数少ない日本内分泌学会認定教育施設、日本甲状腺学会専門医施設です。扱う疾患は多岐にわたり、下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵内分泌、副腎、性腺疾患と全身をカバーします。兵庫県西部地域の広い地域からご紹介いただいております。正しい診断、治療により劇的に症状が改善するのが内分泌疾患ですので、疑わしい症例がおられましたらぜひご紹介ください。

## 若手医師の教育について

若手医師の教育にも力を入れており、最近では当院の専攻医、初期研修医だけではなく淡路、丹波、尼崎医療センターなど他の県立病院からも熱意ある研修医が一定期間当科を選んで研修に来てくれています。若手医師たちが当科の診療の中心になり、活気にあふれた環境です。



## ●学会認定教育施設

- 日本内科学会認定制度教育病院
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 日本肥満学会認定肥満症専門病院

## ●糖尿病・内分泌内科担当医

飯田 啓二	生活習慣病センター次長兼 糖尿病・内分泌内科部長	平成5年卒
日野 泰久	糖尿病・内分泌内科部長	平成5年卒
戎谷亜希子 (非常勤)	兵庫県職員健康センター所長	平成9年卒
中村 幸子	総合内科兼糖尿病・内分泌内科医長	平成14年卒
石田 育大	総合内科兼糖尿病・内分泌内科医長	平成24年卒
石井 佳子	糖尿病・内分泌内科医員	平成24年卒
大西 諒子	糖尿病・内分泌内科医員	平成25年卒
立花真莉子	糖尿病・内分泌内科医員	平成26年卒
稲山由布子	専攻医	平成27年卒
芳村 魁	専攻医	平成28年卒
樗谷 悠也	専攻医	平成28年卒
前田 岳志	専攻医	平成29年卒
藤井 研己	専攻医	平成30年卒



# 脳神経外科

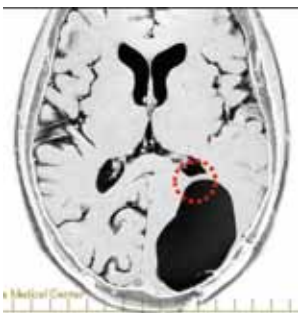
脳神経外科部長 森下 暁二

## 昨年からの変化

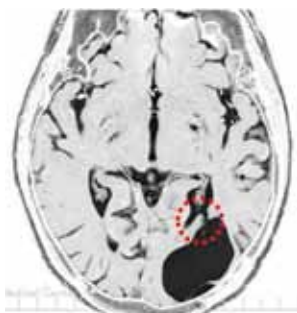
手術においては、正確な病変への到達が重要です。昨年まで使用していたナビゲーションシステムが新たになり、より簡便に短時間でセッティングが可能となりました。その結果、周辺の正常脳におけるダメージの回避のみならず、皮膚切開がさらに小さくなりました。

## 症例呈示

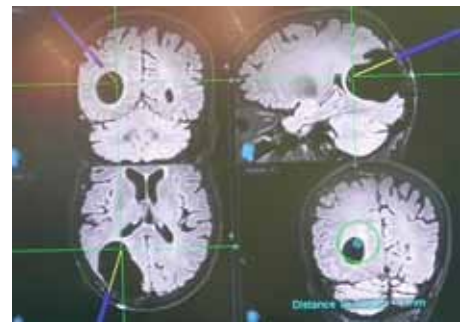
### 症例1 くも膜嚢胞に対する脳室開窓術



(術前 7 cmの嚢胞)

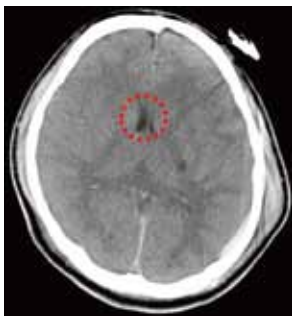


(開窓後。皮膚切開は3 cm)

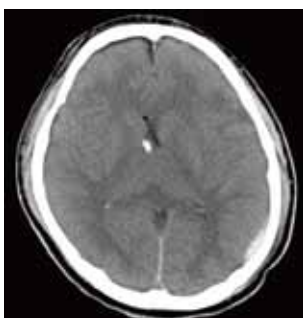


(術中ナビゲーション画像)

### 症例2



(手術前：狭小化した脳室)



(正確なドレナージ留置)

## 使用する疾患

これら以外にも、脳内血腫の除去、脳腫瘍の摘出などに多大な威力を発揮しています。術者のストレスは軽減し、手術時間の短縮が得られました。

**相原 英夫** 部長 (平成4年 神戸大学卒)  
前職 神戸大学附属病院脳神経外科講師  
資格、専門医など 医学博士 (H13.神戸大学)  
日本脳神経外科学会専門医(H11)  
日本脳卒中学会専門医  
日本脳卒中の外科学会認定医  
専門 脳血管障害、脳腫瘍、三叉神経痛や顔面痙攣などの機能的脳外科疾患

**森下 暁二** 部長 (平成7年 神戸大学卒)  
資格、専門医など 医学博士 (H19.神戸大学)  
日本脳神経外科学会専門医(H13)  
日本脳卒中学会専門医  
日本神経内視鏡学会技術認定医  
日本定位機能神経外科学会機能的定位脳手術技術認定医  
日本小児神経外科学認定医  
専門 神経内視鏡治療、痙攣・疼痛を中心とした機能的脳神経外科

**荒井 篤** 医長 (平成14年 神戸大学卒)  
前職 神戸大学脳神経外科特定助教 (病棟医長)  
資格、専門医など 日本脳神経外科学会専門医(H20)  
日本脳卒中学会専門医(H29)  
専門 脳卒中の外科・内科的治療、脳腫瘍

**勝部 毅** 医長 (平成26年 島根大学卒)  
資格、専門医など  
専門 神経外傷

# 放射線部からのお知らせ

放射線技師長 芦原 龍彦

## 医療被ばく線量最適化システムを導入しました！

医療における安全管理体制については、2007年に医療法で院内感染対策、医薬品に係る安全管理、医療機器に係る安全管理が義務づけられ、当センターでも適切に対応しているところです。今回、医療放射線に係る安全管理体制に関する規定が定められ、2020年4月に改正省令の施行となっています。これにより、医療放射線安全責任者の配置、安全管理の指針策定、職員の研修および医療被ばくの記録と管理が規定されました。この中で医療被ばくの記録管理について、当院ではGE社製『DoseWatch』を導入し活用を開始しています。CT、血管撮影、核医学検査の被ばく線量を記録し、診断参考レベル（Japan DRLs 2020）等と比較することで、適宜撮影条件を見直し、被ばく線量の最適化を行っていきます（図1）。尚、この取り組みは、全県立病院で委員会を立ち上げて診療放射線技師間で連携し継続的に検討していきます。



図1 被ばく線量最適化の流れ

昨年、核医学検査にシーメンス社製SPECT（スペクト）-CT装置を導入し、CT画像を用いた正確な減弱補正やフュージョンを行うことで、より正確な診断が可能となりました（図2）。また、一般撮影をフラットパネルシステム（FPD）へ更新し、長尺撮影も含めてカセット入れ替えなしで瞬時に撮影画像が確認可能となり、患者さんの身体的負担軽減と被ばく線量低減に寄与できるシステムとなりました（図3）。

放射線部では、① CT検査 ② MRI検査 ③核医学検査 ④骨密度測定検査を受付けています。現在、検査予約の待ち日数はございません。受付時間は、平日18時30分まで、土曜日11時30分まで延長しました。どうぞご利用ください。



図2 SPECT-CT装置



図3 長尺FPD装置

## コロナ禍における緩和ケア内科の 入院対応について

副院長兼緩和ケア内科部長 酒井英郎

がんなどによる痛みや精神的な苦痛を和らげる緩和ケアで、入院している患者との面会について日本緩和医療学会は5月、緩和ケアの病棟がある全国の医療機関を対象に新型コロナウイルスの影響について調査を行い、295の施設から回答を得ました。こうした施設では重症化するリスクが高い患者が多いため、ウイルスを持ち込まない対策が取られ、98%に当たる289の施設が、面会で病室に入る人数や時間を制限していたほか、18%に当たる52の施設では、親や子どもなど家族との面会も禁止していると回答しました。一方で、55%に当たる163の施設はオンラインで面会できる環境を整えているほか、98%に当たる289の施設は、患者が亡くなる直前に限って、感染対策をして近い家族に限るなどといった形で面会できるようにしていると回答しています。

加古川医療センター緩和ケア内科では、兵庫県における新型コロナウイルス感染症に対する感染拠点病院とされたこともあり、感染第1波の際には、病棟の閉鎖とともに緩和ケア目的の入院もすべて中止させていただきました。その後、6月18日から緩和ケア病棟の運用を再開しておりましたが、感染第2波の影響で8月4日から再び緩和ケア病棟を閉鎖しております。

しかし、第1波の際に患者さんの対応が十分にできなかった教訓から、現在は入院が必要な患者さんについて、一般病棟にて個別に入院対応する体制を整えています。ご家族の面会は、発熱や体調不良がないことを確認し、病室への入室は2名までと若干の制約はありますが、病室で面会や付添いを特別に許可しております。また必要に応じてオンライン面会の対応も行っております。

今後も新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら、試行錯誤は続きますが、可能な限り、緩和ケア対応を実践していきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



## 栄養教育の取り組み

栄養管理部 栄養管理課

当センターでは、医師の指示に基づき、患者さんのライフスタイルに合わせた食事療法をご提案する「個別栄養指導」のほか、糖尿病教育入院において「集団栄養指導」を行っています。また、生活習慣病センターの各チームによる患者教室を開催し、正しい栄養知識の普及・啓発を進めています。

### 個別栄養指導

入院患者さん及び外来患者さんにご家族に対して実施しています。

食事は疾患・症状・生活習慣により人それぞれです。患者さんにご理解いただけるよう丁寧に話し、一人ひとりに合った食生活の改善案を提案しています。治療食をお召し上がりの入院患者さんに対しては、当院独自の媒体を用いて入院中のお食事をもとに食事療法の必要性をお伝えし、「退院後どんな食事をしたらよいか。」などについてもお話をさせていただいております。

外来で実施している「生活習慣病プログラム」では、デジタルカメラを用いた食事評価を行い、患者さんがモチベーションを維持しながら食事療法を継続できるよう支援しています。

### 集団栄養指導

糖尿病教育入院の患者さんに対し、集団指導を実施しています。現在は感染対策も講じながら患者参加型の形式で行っています。

### 患者教室

糖尿病、肝臓病、生活習慣病、骨粗鬆症、リウマチについて各種教室を開催しています。2020年度からは腎臓病も新たに加わりました。栄養士は各疾患に応じた食事療法の基本についてお話しています。(2020年8月現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止中)

### その他

患者さんから「病院食は味が薄い。」とご意見いただくこともあります。そこで、薄味でもおいしい、ご自宅でも簡単にできる「病院食アレンジレシピ」を調理師と共同で作成しました。患者さんが日々の食事に興味を持っていただけることを目指して、栄養指導の際にお配りするほか、病院ホームページにも掲載予定です。



栄養相談室



病院食アレンジレシピ

## 研修医の紹介



やまおか たくみ  
**山岡 匠**

加古川に来て、2年目になります。山岡匠と申します。昨年一年間は色々な失敗を経験しながら、皆さまのおかげで少しずつ着実に成長している実感を得ることができました。今後とも、ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。



わたなべ みき  
**渡邊 美季**

徳島から加古川に来て、早、1年半となりました。温かい方々に囲まれて充実した生活を送ることができています。今後とも、よろしくお願いします。



いわもと むねのり  
**岩本 宗矩**

初めまして、神戸大学医学部附属病院 初期臨床研修コースの1年目として、4月より当センターに赴任致しました。岩本宗矩と申します。ふつつか者ではございますが、日々の研修において微力を尽くしていきたい所存ですので、よろしくお願い致します。



おおなり ちはる  
**大成 千晴**

研修医1年目の大成千晴です。大学6年間を岡山で過ごし、兵庫県に帰ってきました。素晴らしい先生方のもと、多くの事を学び、よりよい医師になれるよう日々精進していけるように頑張ります。



ながはま みなみ  
**永濱 陽**

研修医1年目の永濱陽です。まだ慣れないことが多く、至らない点もあるかと思いますが、精一杯努力いたしますので、よろしくお願いします。



うやま のぞみ  
**宇山 望**

研修医2年目の宇山です。地元兵庫県で地域の医療に少しでも貢献できればと思います。よろしくお願いします。



かわはら しんいちろう  
**河原 慎一郎**

今年4月から加古川に来ました、1年目の河原慎一郎と申します。出身は大阪ですが、縁あってこちらで研修することになりました。今はまだ慣れない環境の中で右往左往している状態ですが、自分の理想である「患者さん・ご家族に信頼される医師」を目指して日々頑張っていきたいと思っております。



たにもと ゆきな  
**谷本 幸奈**

研修医1年目の谷本幸奈です。何事にも、一生懸命取り組み成長していきたいと考えています。よろしくお願いします。



ごとう さや  
**後藤 紗矢**

研修医1年目の後藤紗矢です。地元加古川で研修のできることをうれしく思っています。慣れないことが多く、至らない点ばかりですが、日々、精進していきますので、よろしくお願いします。



ひろつじ たかし  
**廣辻 敬士**

コロナ禍に巻き込まれ、どうなることかと思いましたが、とても貴重な体験をしながら研修を行うことができています。よろしくお願いします。



おおにし ゆうや  
**大西 佑弥**

鳥取大学出身の大西です。地元、加古川の病院で勤務できて大変嬉しく思います。新しいことを学び、楽しく毎日過ごすことができていると思います。適度の息抜きが長続きするコツと考えています。よろしくお願いします。



なかい みく  
**中井 美空**

初めまして、初期研修医1年目の中井です。出身は神戸大学です。趣味は料理とゲームで、大学時代はウィンドサーフィン部のマネージャーで、よく昼食を作っていました。至らぬところも多いかと思いますが、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いします。



# 県立加古川医療センター外来診療表

令和2年8月1日～

		月	火	水	木	金
総合内科	初診	石田	大北	日野	榎谷	中村
消化器内科	1診	埴本(さかもと)	【尹(ゆん)】(再診のみ)	廣畑(午前)	【尹(ゆん)】(再診のみ)	埴本(さかもと)
	2診	廣畑	岡田	【担当医】	廣畑	戎谷(えびすたに)
	3診				草野	岡田
循環器内科	1診	福田	鈴木(~14時)	岩田	片嶋	岩田
	2診	【禁煙】			【ペースメーカー】	
脳神経内科		木村	木村	木村		渡部
糖尿病・内分泌内科	1診	飯田	芳村	飯田	石田	榎原
	2診		【立花】			
緩和ケア内科	入棟面談	担当医		担当医		担当医
	サポーターケア外来 (緩和ケア外来)	田中		田中		田中
生活習慣病		【尹(ゆん)】 肝炎	【戎谷(えびすたに)】 肥満	【大西】 肥満	【石井】 肥満	
		【福田】 禁煙	装具外来			
リウマチ科	1診	田中	田中	田中	田中	担当医1
	2診		塩澤	塩澤	塩澤	担当医2
	3診	村田	吉原	吉原	吉原	担当医3
	4診	中川	【上藤】	村田	村田	中川
腎臓内科			加藤		加藤(1,3,5週)	
外科・消化器外科	1診	高瀬	衣笠	小林	担当医	高瀬
	2診	多田羅(たたら)	川嶋	門馬(もんま)		【衣笠】
心臓血管外科			担当医			担当医
脳神経外科	1診	担当医	森下	森下	担当医	相原
	2診		荒井	荒井		森下
乳腺外科	1診	石川	石川		石川	担当医
	2診	小林	担当医		小林	
整形外科	1診	原田	中川	高山	青木	中川
	2診	高原		市村	西原	
	3診	【青木】		原田	【高山】	
	骨粗鬆症	午後	【上藤】		【市村】	
形成外科	1診	櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	2診	北川		北川	北川	北川
	3診	【佐竹】		【谷口】	【佐竹】	【谷口】
皮膚科	初診/予診	【梅村】	【増田】	【高井】	【横山】	【梅村】
	1診	増田	足立	足立	竹内	足立
	2診	横山	梅村	竹内	増田	横山
眼科	1診		薄木	薄木	薄木	薄木
	2診	徳川	徳川	徳川		
	3診	秋田	秋田	秋田		
泌尿器科	1診	丸山	脇田	田中	丸山	田中
	2診		大場			大場
放射線科	(IVR)	担当医		担当医		担当医
	(治療)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

**予約受付時間 平日 9:00～18:30 土曜日 9:00～11:30 (祝日除く)**

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※【 】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

※リハビリテーション科・スポーツ整形は、主に学生アスリートの方を対象とさせていただきます。

**お願い** 患者様の待ち時間短縮のため、FAXまたはインターネットで初診予約をお取り下さい。

